

(別紙5)

整理番号 2019P-056

補助事業名 2019年度 全国的なスポーツ・パラスポーツ大会の開催 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当財団は1970年障害児の父母団体の全国組織16団体が協力して設立した社会福祉法人で、障害児に対する福祉、医療、療育訓練、各種相談事業を行う外、障害児の父母団体との協力の下、障害を持つ者と健常者との共生社会を目指して幅広い広報・啓発活動の実施を目的としている。なお、定款では以下のように標榜している。「多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されることを目的とする。

(2) 実施内容

<http://www.shougaiji-zaidan.or.jp/publics/index/34/>

全国聾学校PTA連合会

聴覚障害生徒スポーツ振興

聴覚障害生徒の体力向上を通して意欲的な人間を育てるために、陸上競技大会9月27日～29日栃木県立総合運動公園陸上競技場(栃木県)、卓球大会11月15日～17日一宮市総合体育館(愛知県)の日程で実施した。



全国盲学校PTA連合会

視覚障害生徒スポーツ振興

8月20日～22日に花巻市総合体育館(岩手県)において全国8地区および開催地区から選ばれた8チームと、開催地区の1チームの計9チームにより2日間にわたり開催された。

開催前にはフロアバレー指導者の育成の為、研修会を開催した



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

全国聾学校PTA連合会

(1) 聴覚障害生徒スポーツ振興

スポーツ面での生徒の努力とその成果は、学習面にも良い影響を与えており、ひいては社会性・協調性の伸長にも及んでいる。この事によりデフリンピックや デフユースへの選手参加という榮譽に浴する生徒も毎年出ている。これらが好材料となり就職面にも求人数・採用者数の増加につながることを期待される。また、スポーツに対する関心・興味の高まりは、聾学校も例外ではなく生徒はもちろん保護者にも及んでおり、学校における指導も先輩が残した記録を目標に生徒の潜在能力の開発や、新たな能力形成を図るなどし、聴覚障害生徒の生活スタイルに大きなプラスにつながると期待される。

全国盲学校PTA連合会

(1) 視覚障害生徒スポーツ振興

フロアバレーボールは、各学校によって活動している所も見られるが、全国の盲学校で行うためのルール等の規定が統一されてはいなかった為、指導者の研修会を含んだ本事業を行い、全国的なルール規程を確立し、フロアバレーが普及されていく事が予想される。また、生徒に対しては昨年度まで行っていた野球大会同様、大会を通して生徒の積極性や協調精神が培われ、視覚障害生徒の選手同士はもとよりボランティア・開催地域の人との交流経験をすることや、盲学校生徒の活動を社会にアピールすることで、視覚障害に対する社会の理解啓発が深まることが予想される。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://www.shougaiji-zaidan.or.jp/publics/index/34/>

全国盲学校PTA連合会

全国盲学校フロアバレー大会要綱(プログラム)	A4判	43頁	500部
全国盲学校フロアバレー大会ポスター	A1判	400枚	

全国聾学校PTA連合会

全国聾学校陸上競技大会要綱(プログラム)	A4判	122頁	1,000部
全国聾学校陸上競技大会ポスター	B2判	250枚	
全国聾学校卓球大会要綱(プログラム)	A4判	62頁	700部
全国聾学校卓球大会ポスター	B2判	300枚	

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

無し

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団

(シャカイフクシホウジン ゼンコクシンシンシヨウガイジフクシザイダン)

住 所： 〒170-0005

東京都豊島区南大塚三丁目43-11

代 表 者： 理 事 長 伍 藤 忠 春 (リジチヨウ ゴトウタダハル)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局次長 町 野 忠 史 (マチノ タダシ)

電 話 番 号： 03-5927-1280(代)

F A X： 03-5927-12080

E - m a i l： gyoumubu@shougaiji-zaidan.or.jp

U R L： <http://www.shougaiji-zaidan.or.jp>